

令和元年度第3回 県と市町村との総合教育懇談会（概要）

日時 令和2年3月27日（金）

15時15分から16時

場所 長野県庁議会棟3階 第1特別会議室

1 知事あいさつ

- ・ 新型コロナウイルスへの対応に関し、政府からの一斉休業要請が出され学校現場の先生や関係者の協力のもと適切な対応をしていただいていることに心から感謝申し上げます。
- ・ 新型コロナウイルス対策全般については政府の対策本部が昨日立ち上がり、長野県においても法定設置の対策本部を昨日設置し、本日1回目の会議を開催したところ。
- ・ 引き続き感染拡大の防止はもとより県民生活や産業経済への影響を見極めながら、県としても総合的な対応を実施したい。
- ・ そのなかでも多くのみなさんが関心を寄せる学校の再開については、去る3月24日に文部科学事務次官から万全の感染症対策を講じたうえで教育活動を再開するための準備を行うよう、ガイドラインとともに通知が発出された。
- ・ 新年度から学校再開に向けどう取り組むべきか、国からの方針や今日みなさんとの議論をふまえながら長野県として基本的な方針を共有したいと考えている。
- ・ 子どもたちや保護者の皆さんにとって最善の方向付けを一緒に行いたい。

2 意見交換会

<議題：「新型コロナウイルス感染症に係る新年度からの学校再開」について>

【轟教育次長】

- ・ 県立学校においては、万全な感染症対策を講じたうえで新年度から学校を再開する方針だが、本日は特に2点についてご意見をいただきたいと思う。
- ・ 1点目は本日出席の市町村では新年度の学校再開についてどのような方針かという点、2点目は再開する場合は県の方針を参考にされると思うので、先ほど説明をした内容についてご意見・ご質問があればいただきたい。
- ・ それでは、1点目の新年度からの学校再開の方針について本日出席の全市町村にご発言いただきたいと思う。長野市から順番にご発言をお願いしたい。

【長野市教育長】

- ・ 本市においては児童生徒の健康保持と学習保障や家庭の負担軽減を考え4月から再開したいと考えている。また学校給食も再開したいと考えている。

- ・ 県と同様にコロナウィルスの感染症対策措置を十分講じたうえで実施したい。

【大町市長】

- ・ 新学期から開始したいと教育委員会より学校へ通知している。
- ・ 入学式は卒業式と同様に簡素に行うことを徹底する。在校生は出席するが、校歌は自粛するなどの色々な配慮を行いながら実施する。
- ・ 授業は通常に行うが留意事項を徹底して守り、十分に気を配りながら進めていきたいと考えている。

【小諸市教育長】

- ・ 総合教育会議や校長会への説明をへて新年度より開始予定である。
- ・ 全国的には休業前より状況が悪化しているが再開しないといけないと考えている。
- ・ 病気の予防の手立てがある程度みえてきたので、万全な対策をとりながら学習保障をすべきではないかと再開を決めた。

【長和町長】

- ・ 県のチェックリストを守りながら、他の皆さんと同様に4月から再開する予定である。

【松本市教育委員会事務局学校指導課長（代理出席）】

- ・ 松本市では感染患者が発生しているものの、小中学生や保護者に患者がいないので万全の態勢をとったうえで学校を再開する予定である。
- ・ ただし、入学式までの約1月の長い期間子どもたちが休みであったこと、それから感染症対策のためには教員も相当神経を使うであろうということから、すべての学校ではないが、例えば短縮授業をして感染症防止対策に関われる時間を作るとか、段々と子どもたちが学校に慣れていけるような時間を作りだそうと考えている。

【小布施町長】

- ・ 小布施町も他の市町と同じように4月から再開したい。
- ・ 県の方針を参考にし、小布施町も今松本市さんが発言したような独自の方法を考えたい。

【高山村教育長】

- ・ 4月6日より小・中学校ともに再開したいと思っている。
- ・ 入学式はできる限り縮小し実施、通常授業も手洗いやうがいは徹底しながら再開したいと考えている。

【松川町教育長】

- ・ 教育委員会定例会及び校長会への説明を経て4月から予定通り再開を決めた。
- ・ 登校時の健康チェックや子どもたちの学校生活の中での手洗いなど家庭の皆さんへ理解を得ることが大事だと考えている。
- ・ 保護者の皆さんにどのような形で学校の取組を了解してもらおうかというところ、それから子どもたちへもなぜ教育活動を制限しないといけないかをどう理解してもらおうか、学校・家庭・地域そして子どもたちが連携のうえで取り組みを進めていきたい。

【轟教育次長】

- ・ 本日は8市町村出席しているが出席市町村全てが4月から学校を再開するという発言があった。
- ・ また、感染症の予防対策の徹底はもちろんのこと、これまで長期の休みとなっているので短縮授業などの配慮をするなどのご発言もあった。
- ・ 再開にあたっては県の方針を参考にすると思うがご意見・ご質問あったらご発言をお願いしたい。

【長野市教育長】

- ・ 入学式もできるだけ多くの保護者にも出席してもらいたいと考えている。小学校は可能な限り在校生の出席を考えており、教育委員会の定例会や校長会でお願いをしたところ。
- ・ 健康観察が大変という点について資料2の別紙2の最後の部分に「児童生徒本人は濃厚接触者とはならず、他者に感染させる恐れがないので登校」とあるが、例えば小学校1・2年生でお母さんが濃厚接触者である場合、児童本人も濃厚接触する可能性があると思う。
- ・ その場合、医学的には感染可能性は少ないのかもしれないができるだけ学校へ行こうということがないように家庭の理解を得たいと思うが、そういった同居家族がいた場合には登校しないという方向が良いと思うがいかがか。

【小諸市教育長】

- ・ 今日一番の論点となると思うところであり、できるだけ学校を開いた状態を維持したいという考えが基本となると思うが、2つの課題があると思う。
- ・ 症状が出ていない子は感染をさせないということが前提で県の資料は作られていると思うが、それが科学的にどれくらい大丈夫なのか、根拠は何かを把握できていないと保護者や教職員に対する説明が十分にできないということになってしまう。
- ・ もう一つは濃厚接触者という言葉について、社会の中で大人が濃厚接触したかどうかという場合と子どもが学級の中で一日過ごして濃厚接触したかどうかという場合の判断は違うもの

があるのではないかと思う。

- ・ 保健所は学校の実態を把握できているのかどうか、それをふまえてどのように判断するのか、今分かっていることがあれば教えていただきたい。

【徳本衛生技監】

- ・ 同居家族が濃厚接触者となったとき、大人の場合は同居家族が濃厚接触者になったからと言って出社自粛までは求めないといった前提で作っているが、ご家庭で濃厚接触者となっているお母さんと区別できないという状況であれば、個別の実態に応じて判断する必要があると考えている。
- ・ 一般的にはご家族に新型コロナウイルスの感染が疑われる場合、ご注意いただきたい 8 つのポイントがあり、こういったものを徹底していただくとともに、チェックリストを利用し、登校前の症状の確認が原則となると考えている。ただ、学校では大人の常識が通用しない部分もあると思うので教育委員会で判断をしていただければと考えている。
- ・ 発症していない方からの感染については、専門家会議の中でも否定はされていないものの、国としても明確なエビデンスを掴んでいないという状況の中において、今の濃厚接触者の積極的疫学調査の実施要領の中では、感染は発症後に起きることが濃厚とされている。
- ・ 小諸市教育委員会さんが説明できないという部分は、我々も明確に示すエビデンスがないというのは同じ状況。
- ・ 保健福祉事務所が誰を濃厚接触者と判断するかについては、ご本人の聞き取りの後、学校の教職員に聞き取りを行って決めることとなる。

【原山県教育長】

- ・ 大人と子どもの判断基準が異なるのではないかという点については、もう一度おさらいをして必要に応じ修正を考えたい。

【長野市教育長】

- ・ 学校では特にインフルエンザの流行期などほぼ毎朝健康チェックをしており、症状が出ている場合には当市ではコロナに関わらずお家で休んでくださいとお願いしている。
- ・ それと家族に発症がある場合お子さんも感染している場合が多いので症状がはっきりとするまでは休んでいただきたいと考えているがいかがか。

【原山県教育長】

- ・ 発熱などの症状が出ている子どもには登校しないでくださいというような対応は徹底したいと考えており、その部分は共通の考えだと思っている。

【大町市長】

- ・ チェックカードについて、市の教育委員会で検討している中で、学校に子どもたちが一斉に登校した後で、先生の朝の仕事としては一番大変な仕事である。
- ・ 数週間たつとルーズになる心配があり、朝一番、家庭においてしっかりとチェックした上で、学校においてもしっかりと確認するダブルチェックの徹底が必要と思われる。

【原山県教育長】

- ・ そういった意味では保護者の理解の徹底も必要と考えている。

【松川町教育長】

- ・ 児童生徒や教職員が感染者になった場合に、教職員は自己申告となると思うが、児童生徒が感染者となった場合の情報提供はどうなるのか。
- ・ 公表されないと思うので学校・教育委員会へはどのように情報提供があるのか。

【徳本衛生技監】

- ・ 児童生徒本人が感染者となった場合、濃厚接触者の調査を学校に行く必要がなければ基本的には学校への情報提供はしない。ただし影響等を考えてご本人の同意があれば情報提供できると思う。
- ・ 市町村長に対しては、域内で発生したことは情報提供するが、個別具体的な情報は個人情報保護のため提供できない。

【松川町教育長】

- ・ 個人情報の保護のために情報提供ができないとなると、教育委員会あるいは学校が対応や休業措置の判断ができない。

【阿部知事】

- ・ それは考える必要がある。

【原山県教育長】

- ・ 発生した場合にどのような連絡体制になるかについては記載できていないため検討し、別途通知という形になるかもしれないが改めてお知らせする。

【小諸市教育長】

- ・ 個人情報ではあるが社会的影響も大きい。それもふまえて通知してほしい。

【大町市長】

- ・ 要望だが、「学校医と相談して」とあるが、学校医もそれぞれ専門分野がある中で、コロナウィルスの情報がどの程度入っているか聞いたところ、医師会から一般的な情報は聞いているとのこと。
- ・ パニックになる前に、学校医が正確な情報が得られるネットワークを構築し、より正確な情報が伝えられるよう、教育委員会で力を入れてほしい。

【原山県教育長】

- ・ ご意見のとおりであり検討したい。

【長野市教育長】

- ・ 部活について、当市では基本的に濃厚接触を避けるよう、試合は避け、基礎練習を中心にするとか合唱にしてもパート練習をするなど、できるだけ接触がないようにしたほうが良いと考えている。
- ・ 県立の高等学校が念頭にあるとは思いますが、義務関係についてはもう少し検討いただき、濃厚接触が少なくなるよう配慮してほしい。

【原山県教育長】

- ・ おっしゃるとおり県立学校における方針であり義務の小・中学校においては参考としていただきたいというもので、当然対応に違いが出るものと認識している。

【阿部知事】

- ・ 今までの議論の整理として、ロジカルな整理と学校現場として感染者が出たときに保護者の反応も含めどういう状況になるのかを考慮しなければいけないということだと思う。
- ・ 基本的な認識はできるだけ一斉休業は避け、個別の対応は慎重に行うほうがよいという内容かと思うのでその考え方で整理してはどうか。

【原山県教育長】

- ・ 場合分けをきちんとし対応も明確にしようという考え方で作ったが、ご指摘の大前提のどういう方向性で対応すべきかという観点でもう少し検討したい。

【轟教育次長】

- ・ 残り時間もあとわずかとなったが、最後に何か発言のある方いるでしょうか。

【長野市教育長】

- ・ 中学校では修学旅行を延期しキャンセル料や消費税増税の影響でかなり大きい負担が保護者にかかってしまう。
- ・ 文部科学省でも調査しとりまとめているが県でも調査等していただき、支援の方法などを検討してほしい。

【原山県教育長】

- ・ 文部科学省でも対応を前提に調査しているのではないかと思うが全国知事会の文教環境委員長として知事も文科省に対しキャンセル料について要望しているので引き続き要望したい。